

共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業

現状・課題

小中学校等

- ・特別支援教育を必要とする児童生徒が増加
- ・特別支援学級や通級指導教室において、自立活動等十分な指導ができる専門性の高い教員が不足している

高等学校

- ・特別支援教育を必要とする生徒が増加
- ・中学校から高等学校に支援を引き継ぐ体制の整備が必要
- ・通級による指導の指導体制の確立が必要

特別支援学校

- ・特別支援学校に在籍する全ての教員が特別支援学校免許状を保有していない
- ・障害のある子と障害のない子が共に学ぶ機会を確保することが必要

連続性のある多様な学びの場の充実
個に応じた支援の充実
特別支援教育を担う教職員の育成

【特別支援学校支援体制の推進】

◆センター的機能の強化・充実

- ・特別支援教育を推進する体制の整備・強化に向けて、小・中・高等学校等と特別支援学校とのさらなる連携を促進し、児童生徒ひとりひとりの教育的ニーズに応じた支援や指導を充実に努める

◆支援をつなぐ特別支援教育推進会議の実施

- ・幼稚園や保育園から小学校へ、また中学校から高等学校へ、必要な支援をつなぐために、各学校の特別支援教育コーディネーター等に対して協議を行う場を設定し、それぞれの連携を強めるとともに、講義を実施することにより教職員の専門性の向上を図る

【人材育成・指導力の向上】

◆階層別研修会の実施

- ・管理職及び教職員に対して、特別支援教育に関する研修を実施し、専門性の向上を図る

◆免許法認定講習の実施

- ・特別支援学校教諭2種免許状取得のために必要な単位の修得機会を提供し、特別支援教育に関わる教員（特別支援学校、特別支援学級、通級による指導の担当）の特別支援学校免許状の保有率向上を図る

【地域及び関係機関との連携支援の充実】

◆みんな幸せ・共生社会 県民のつどいの開催

- ・障害や障害者に対する県民の理解を深めるため、福祉部や開催市町村とともに、特別支援学校等の児童生徒による作品展やステージ発表等を行うイベントを開催する

◆学校支援ボランティアの育成

- ・支援籍学習をはじめとした学校業務を補助するボランティアを育成し、教職員の負担軽減を図る

目標

○通常の学級における個別の教育支援計画の作成状況

小 97.7% 中 93.0% 高 100% (R5)

↓
小中高 100% (R9)

○学校支援ボランティアの登録者数

515人 (R5)

↓
760人 (R9)

○特別支援学校における特別支援学校教諭免許状の保有率

80.2% (R5)

↓
95% (R9)



○就学時から高等学校卒業後まで切れ目ない支援体制の構築

○連続性のある多様な学びの場の整備及び充実

○高等学校における組織的な支援体制の充実

○特別支援教育を担う教員の専門性向上

○特別支援学校のセンター的機能の強化・充実

障害のある
子供とない
子供が共に
学ぶ共生社会
の実現